

亀岡市有機農業推進協議会（京都府亀岡市）

R3補正
R4当初

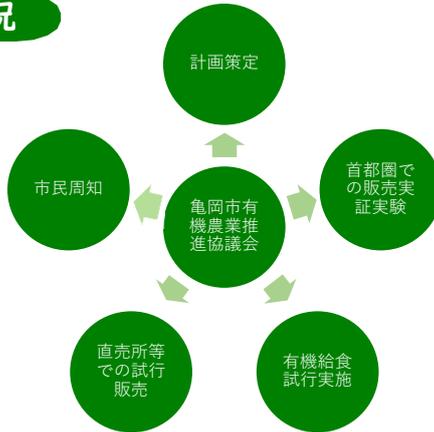
30

背景・課題

「京都府の穀倉地」と称される亀岡市は、平成30年12月に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を行うなど環境先進都市への取組を進めており、農業従事者の高齢化や後継者不足の解消と同時に、農業生産に由来する環境負荷低減が課題。

成果目標と達成状況

市内での新規就農希望者の多くが有機農業を希望する中で、高付加価値の有機農産物の生産・流通・消費を拡大することにより、農業従事者等の収益性の向上と農業後継者の確保を目指す。



- 目標 ①給食での有機米導入率（R3→R6）
 市立保育所：0% → 50%（R4実績：8.7%）
 市立小学校：0% → 20%（R4実績：0.6%）
 （※給食での米の年間消費量に占める有機米の割合）
 ②有機農業に取り組む農業者数（R3→R6）
 7人 → 16人（R4実績：7人）



亀岡市

構成員

亀岡商工会議所、亀岡オーガニックアクション、京都先端科学大学、京都府、亀岡市、亀岡料飲連合会、かめまる有機給食協議会ほか

品目

水稻、野菜



●有機米生産の講習会

取組の成果

- （生産）
 ○有機稲作に関する勉強会開催
 ○有機JAS指定講習会開催
 ○有機米と通常米の差額支援
- （流通・加工）
 ○有機農業導入による経済効果分析
- （消費）
 ○有機農産物啓発イベントの実施

波及効果推定額 合計

項目	分類	年間効果額
1. 亀岡産有機米の普及促進	米加工費	48万円
	肥料・農機具費	228万円**
2. 有機農業導入による経済効果分析	食料費削減による経済効果	248万円
	シンボル公費での有機米消費	18万円
3. 学校給食有機米や有機野菜の活用促進による効果	米	48万円

●経済効果分析



●オーガニックライフスタイルEXPO出展

普及に向けた取組

有機米導入に関しては、生産者の抱く雑草や病害虫などへの不安の払しょくが課題となる。様々な栽培技術の研修機会を増加させるとともに、有機稲作に取り組む生産者のネットワーク化を図り、全体としての生産性向上に努める。

問い合わせ先

亀岡市産業観光部農林振興課 TEL：0771-25-5036